

# 🖒 武蔵野銀行

# ミニディスクロージャー誌

第89期 営業の中間ご報告

2011.9 Vol. 32 2011.4.1 - 2011.9.30



~ 「地域で最も信頼されるワンランク上の銀行」を目指して~



頭取 加藤姜久雄

平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

株主さまをはじめお取引先の皆さまに、当行に対するご理解を一層深めていただければと、平成23年9月期の営業の概況等をわかりやすくお知らせする本冊子を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

県内経済は、東日本大震災に起因したサプライチェーンの混乱が収束し回復基調にありましたが、欧州発の金融市場の混乱などの影響から不透明感が高まっております。

このようななか、平成23年9月期は、貸出金の増加により資金利益は前年同期とほぼ同水準を確保し、与信関係費用の大幅な減少から経常利益で112億円、中間純利益で67億円となり、中間期としては過去最高益を計上することができました。これもひとえに、株主さま、お取引先の皆さまの温かいご支援、ご愛顧の賜物と小より感謝申し上げます。

私どもは、平成24年4月に創業60周年という節目を迎えるにあたり、「お客さま感謝運動」を展開してまいります。今後とも、全役職員一丸となり、たゆまぬ努力と強い使命感を持って地域になくてはならない銀行として、お客さまのニーズに合った商品・サービスをご提供するとともに、地域のさらなる発展に全力を尽くしてまいります。

皆さま方からの変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

平成23年12月

### ◆創業60周年のメッセージ 「More For You ~もっと、街・暮らし・笑顔のために」

#### 【沿革】

当行は、昭和27年4月、埼玉県の中堅・中小企業金融の円滑化を図ることを目的として設立され、商都大宮市(現さいたま市)に本店を置き、県下8か店で営業を開始いたしました。

以来、60年の長きにわたり県民の皆さまのご支援と県勢の発展に支えられ、埼玉県に本店を置く唯一の地方銀行としての地歩を固めてまいりました。

### 【創業60周年のメッセージ】

当行では、これまで以上にお客さま、地域の皆さま、株主の皆さまのお役に立ちたいという想いを込めまして、「More For You ~もっと、街・暮らし・笑顔のために」というメッセージを定めました。

これからも「街·暮らし·笑顔」のために、心を込めたサービスを提供いたしますとともに、地域の皆さまと寄り添いともに歩んでまいります。

#### (1)メッセージ

[More For You~もっと、街・暮らし・笑顔のために]

### (2)ロゴマーク

ロゴマークは、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまへの当行の感謝の想いを ハートで表し、外側の3本のラインを「街・暮らし・笑顔」に見立てました。



### 目次 CONTENTS

ごあいさつ       1         経営理念・中期経営計画       2         業績ハイライト       3~10	株式情報17~18
大部管理休制····································	7 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7

## 経営理念・中期経営計画

### ◆経営理念

「地域共存」……豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。

「顧客尊重 | ……変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

当行は、「地域共存」「顧客尊重」を永遠の経営理念に掲げており、平成22年4月には中期経営計画「NEW PROJECT 60」をスタートさせました。基本方針・基本戦略で掲げた課題と計画目標の達成に向けて、全力で取組んでおります。

### ◆中期経営計画「NEW PROJECT 60」(22年4月~25年3月)

### 目指すべき姿=キーワードは3つの「S」

### ∦ 厳しい環境下において勝ち残る ∦ 強靱な銀行

~どのような環境変化にも耐えうる 財務体質及び収益力=経営力~

### **S**TRONG

⇒強い財務体質

### 《存在感のある銀行》

~県内における磐石な営業基盤~

### **S**TATUS

⇒ステータスを高めて存在感を上げる

### 《信頼感のある銀行》

〜お客さまからの信頼を勝ち得る人材、 円滑な資金提供〜

### SUPPORT

⇒お客さまをサポートし信頼を得る

### (目指すべき姿に向けて) 地域密着型金融の愚直な実践

質を伴った貸出資産の積上げ 実態把握による与信費用の低減

役務利益の拡大

預金調達構造の改革 コア預金の拡大 一人一人の生産性向上 フローの収益力拡大

自己資本の積上げ

Tier1比率の向上

### 基本戦略 3本の柱

営業推進態勢の改革

人材育成の徹底

効率的営業態勢の確立 内部管理態勢の強化

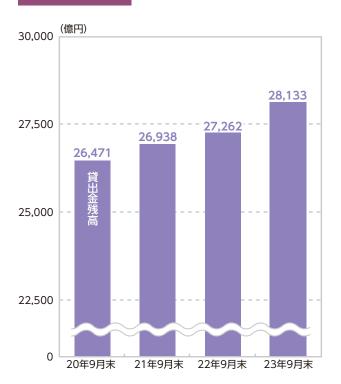


## 業績のポイント

地域に密着した営業

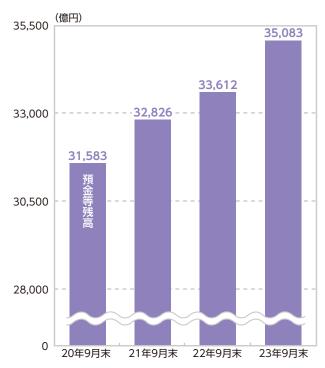
- ●貸出金残高は2兆8,133億円となり、前年同期比年率3.1%、870億円増加しました。
- ●預金等残高は3兆5,083億円となり、前年同期比年率4.3%、1,470億円増加しました。

### 貸出金の状況



県内地元企業及び個人のお客さまのニーズにお応えすべく取組んだ結果、前年同期比870億円増加し、2兆8,133億円となりました。

### 預金等の状況



地域に密着した営業基盤の拡充や総合取引の推進等に 努めましたことから、前年同期比1,470億円増加し、3兆 5,083億円となりました。

※預金等とは、預金に譲渡性預金を加えたものです。

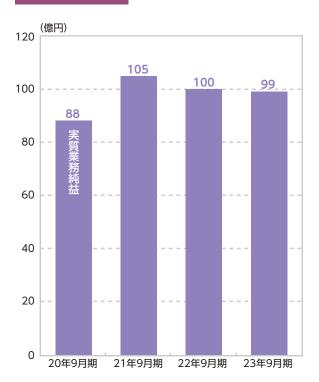


## 業績のポイント

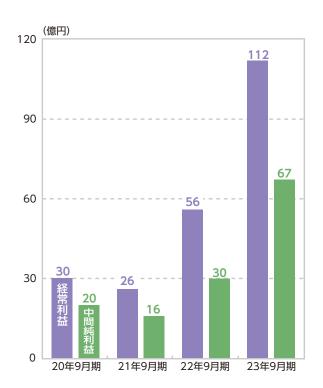
経常利益 中間純利益 過去最高益

- ●実質業務純益は、99億円となりました。
- ●経常利益は112億円、中間純利益は67億円となりました。

### 損益の状況



実質業務純益は、役務取引等利益が減少したものの、貸出金の増強により資金利益がほぼ計画通り確保できたことや経費削減等から99億円となりました。



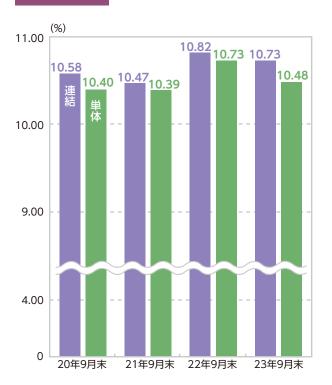
経常利益は、資金利益がほぼ計画通り確保できたことに加え、経費の削減や与信関係費用の大幅な減少等により、前年同期比56億円増加し112億円、また、中間純利益は、前年同期比37億円増加し67億円と、ともに過去最高益になりました。

## 業績のポイント

高い健全性 を堅持

- ▶単体自己資本比率は10.48%で、財務内容は引き続き高い健全性を堅持してお ります。
- ▶格付は「A+」、債務履行の確実性が高い「投資適格」の評価を受けています。

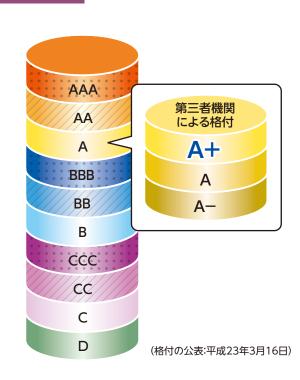
### 自己資本比率



23年9月末の単体自己資本比率は前年同期比0.25%減 少し、10.48%となりました。

単体・連結ともに財務内容は引き続き高い健全性を堅持し ております。

#### 格 付



当行は、(株)日本格付研究所から「長期優先債務」につい て「A+Iの格付を取得しております。

当行の格付「A+」は、「債務履行の確実性が高い」という 投資適格の評価です。



### 業績のポイント

不良債権への十分な備え

- ●不良債権残高は715億円となり、前年同期比2億円減少しました。
- ●不良債権比率は2.52%となり、前年同期比0.08%低下しました。

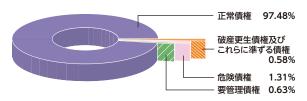
### 不良債権の状況

### 金融再生法に基づく開示債権

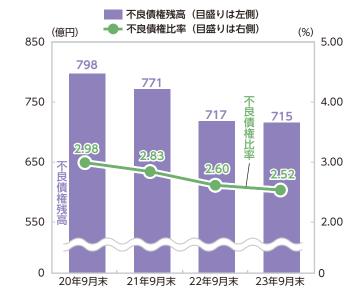
平成23年9月末実績は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が163億円、危険債権が372億円、要管理債権が180億円となり、いわゆる不良債権残高は、前年同期比2億円減少し、715億円となりました。

			(億円)
	22年9月末	23年9月末	増 減
破産更生債権及び これらに準ずる債権	217	163	△54
危険債権	344	372	28
要管理債権	156	180	24
小計(不良債権)	717	715	△2
正常債権	26,756	27,598	842
合 計	27,473	28,312	839

(※上記の計数は億円以下を四捨五入しています。)



平成23年9月末の不良債権比率は、前年同期比0.08% 低下し、2.52%となりました。



### 不良債権への備え

平成23年9月末の不良債権715億円に対する備えでは、担保・保証527億円、貸倒引当金95億円の623億円が確保され、保全率は87.26%です。

残りの90億円は直ちに保全が必要な債権ではな く、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理 できるだけの十分な経営体力を有しています。



中間貸借対照表		(単位:百万円)
	平成 22 年	平成 23 年
	9月末	9月末
(資産の部)		
現金預け金	53,124	57,825
コールローン	126,923	80,520
買入金銭債権	12,198	3,378
商品有価証券	498	219
金銭の信託	1,498	1,500
有価証券	594,299	723,147
貸出金	2,726,269	2,813,314
外国為替	1,008	3,601
その他資産	37,554	13,694
有形固定資産	33,824	34,226
無形固定資産	2,391	2,663
繰延税金資産	14,664	8,856
支払承諾見返	12,088	10,233
貸倒引当金	△ 18,390	△ <b>14,395</b>
資産の部合計	3,597,951	3,738,787

		(単位:百万円)
	平成 22 年	平成 23 年
(2 to 0 to 1	9月末	9月末
(負債の部)		
預金	3,347,271	3,495,260
譲渡性預金	13,966	13,040
借用金	16,806	17,774
外国為替	193	116
社債	18,000	10,000
その他負債	18,317	12,267
賞与引当金	1,205	1,201
退職給付引当金	5,644	5,522
役員退職慰労引当金	252	_
睡眠預金払戻損失引当金	308	211
偶発損失引当金	980	825
再評価に係る繰延税金負債	5,641	5,639
支払承諾	12,088	10,233
負債の部合計	3,440,677	3,572,092
(純資産の部)		
資本金	45,743	45,743
資本剰余金	39,438	38,351
資本準備金	38,351	38,351
その他資本剰余金	1,087	_
利益剰余金	63,224	71,986
利益準備金	10,087	10,087
その他利益剰余金	53,136	61,898
自己株式	△ 2,053	△ 901
株主資本合計	146,353	155,179
その他有価証券評価差額金	6,080	6,085
繰延ヘッジ損益	△ 2,115	△ <b>1,528</b>
土地再評価差額金	6,955	6,951
評価・換算差額等合計	10,920	11,508
新株予約権	_	6
純資産の部合計	157,274	166,694
負債及び純資産の部合計	3,597,951	3,738,787

中間純利益

中間損益計算書		(単位:百万円)
	平成 22 年度 中間期	平成 23 年度 中間期
経常収益	35,840	38,320
資金運用収益	29,249	28,389
(うち貸出金利息)	(25,302)	(24,406)
(うち有価証券利息配当金)	(3,714)	(3,825)
役務取引等収益	4,519	4,449
その他業務収益	1,528	738
その他経常収益	542	4,744
経常費用	30,220	27,084
資金調達費用	3,515	2,698
(うち預金利息)	(2,114)	(1,413)
役務取引等費用	2,306	2,434
その他業務費用	1,489	678
営業経費	18,298	18,231
その他経常費用	4,609	3,042
経常利益	5,620	11,235
特別利益	797	0
特別損失	509	22
税引前中間純利益	5,909	11,213
法人税、住民税及び事業税	1,203	1,158
法人税等調整額	1,665	3,255
法人税等合計	2,868	4,414

6,799

3,040

### **山門姓主咨太笙**恋動計質畫

中間株主資本等変動計算書		(単位:百万円)
	平成 22 年度	平成 23 年度
	中間期	中間期
株主資本合計		
当期首残高	144,333	149,398
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 1,017	△ 1,016
中間純利益	3,040	6,799
自己株式の取得	△ 2	△ 1
当中間期変動額合計	2,020	5,781
当中間期末残高	146,353	155,179
評価・換算差額等合計		
当期首残高	8,454	6,853
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	2,466	4,654
当中間期変動額合計	2,466	4,654
当中間期末残高	10,920	11,508
新株予約権		
当期首残高	_	_
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の	_	6
<u>当中間期変動額(純額)</u> 当中間期変動額合計		6
当中間期末残高		6
当期首残高	152,787	156,252
当中間期変動額	132,707	130,232
判余金の配当	△ 1,017	△ 1,016
中間純利益	3,040	6,799
自己株式の取得 株主資本以外の項目の	△ 2	△ 1
当中間期変動額(純額)	2,466	4,661
当中間期変動額合計	4,486	10,442
当中間期末残高	157,274	166,694

中間連結貸借対照表		(単位:百万円)			(単位:百万F
	平成 22 年 9 月末	平成 23 年 9 月末	_	平成 22 年 9 月末	平成 23 年 9 月末
 (資産の部)	シカ木	シカ本	 (負債の部)	シカ水	ッカホ
現金預け金	54,324	58,591	預金	3,340,498	3,489,615
コールローン及び買入手形	126,923	80,520	譲渡性預金	10,966	10,040
買入金銭債権	12,198	3,378	借用金	27,074	25,950
商品有価証券	498	219	外国為替	193	116
金銭の信託	1,498	1,500	社債	18,000	10,000
有価証券	595,721	726,232	その他負債	29,372	23,689
貸出金	2,717,907	2,803,819	賞与引当金	1,270	1,264
外国為替	1,008	3,601	役員賞与引当金	7	7
リース債権及びリース投資資産	15,578	14,577	退職給付引当金	5,692	5,570
その他資産	45,637	22,628	役員退職慰労引当金	252	_
有形固定資産	35,268	35,570	利息返還損失引当金	106	81
無形固定資産	2,575	2,836	睡眠預金払戻損失引当金	308	211
繰延税金資産	17,758	11,600	ポイント引当金	58	61
支払承諾見返	12,088	10,233	偶発損失引当金	980	825
貸倒引当金	△ 25,314	△ 20,603	再評価に係る繰延税金負債	5,641	5,639
共岡기二並	△ 25,514	△ 20,005	支払承諾	12,088	10,233
			負債の部合計	3,452,513	3,583,307
			(純資産の部)		
			資本金	45,743	45,743
			資本剰余金	39,438	38,351
			利益剰余金	62,992	72,095
			自己株式	△ 2,053	△ 901
			株主資本合計	146,121	155,289
			その他有価証券評価差額金	6,082	6,087
			繰延ヘッジ損益	△ 2,115	△ 1,528
			土地再評価差額金	6,955	6,951
			その他の包括利益累計額合計	10,922	11,510
			新株予約権		6
			少数株主持分	4,115	4,591
			純資産の部合計	161,159	171,397
資産の部合計	3,613,673	3,754,705	負債及び純資産の部合計	3,613,673	3,754,705

### 中間連結損益計算書

中間包括利益

親会社株主に係る中間包括利益

少数株主に係る中間包括利益

(単位:百万円)

	_ D = -	
	平成 22 年度	平成 23 年度
	中間期	中間期
経常収益	41,013	42,612
資金運用収益	29,357	28,467
(うち貸出金利息)	(25,387)	(24,458)
(うち有価証券利息配当金)	(3,735)	(3,848)
役務取引等収益	5,005	4,946
その他業務収益	1,829	1,052
その他経常収益	4,820	8,146
経常費用	35,242	30,732
資金調達費用	3,578	2,741
(うち預金利息)	(2,113)	(1,412)
役務取引等費用	2,005	2,088
その他業務費用	1,489	678
営業経費	18,692	18,654
その他経常費用	9,476	6,568
経常利益	5,770	11,880
特別利益	814	0
固定資産処分益	_	0
貸倒引当金戻入益	492	_
償却債権取立益	304	_
その他の特別利益	17	_
特別損失	505	22
固定資産処分損	23	21
減損損失	16	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	465	_
税金等調整前中間純利益	6,080	11,858
法人税、住民税及び事業税	1,525	1,522
法人税等調整額	1,510	3,298
法人税等合計	3,036	4,821
少数株主損益調整前中間純利益	3,043	7,037
少数株主利益	330	332
中間純利益	2,712	6,704
中間連結包括利益計算書		(単位:百万円)
	平成 22 年度	平成 23 年度
	中間期	中間期
少数株主損益調整前中間純利益	3,043	7,037
その他の包括利益	2,451	4,657
その他有価証券評価差額金	2,926	4,708
繰延ヘッジ損益	△ 475	△ 50

5,495

5,176

318

11,694

11,359

334

### **山思浦结株主咨太笙恋制計筲**畫

(単位:古古田)

中間連結株主資本等変動計算書		(単位:百万円)
	平成 22 年度	平成 23 年度
	中間期	中間期
株主資本合計		
当期首残高	144,428	149,602
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 1,017	△ 1,016
中間純利益	2,712	6,704
自己株式の取得	_,· · <u>-</u> 2	△ <b>1</b>
当中間期変動額合計	1,692	5,686
当中間期末残高	146,121	155,289
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	8,458	6,855
当中間期変動額	,	.,
株主資本以外の項目の	2,463	4.655
当中間期変動額(純額)		,
当中間期変動額合計	2,463	4,655
当中間期末残高	10,922	11,510
新株予約権		
当期首残高	_	_
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の	_	6
当中間期変動額(純額)		
当中間期変動額合計		6
当中間期末残高	_	6
少数株主持分		
当期首残高	3,800	4,260
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の	314	331
当中間期変動額(純額)		
当中間期変動額合計	314	331
当中間期末残高	4,115	4,591
純資産合計		
当期首残高	156,687	160,718
当中間期変動額		
剰余金の配当	△ 1,017	△ 1,016
中間純利益	2,712	6,704
自己株式の取得	△ 2	△ 1
株主資本以外の項目の	2,778	4,992
当中間期変動額(純額)		
当中間期変動額合計	4,471	10,679
当中間期末残高	161,159	171,397

# 内部管理体制

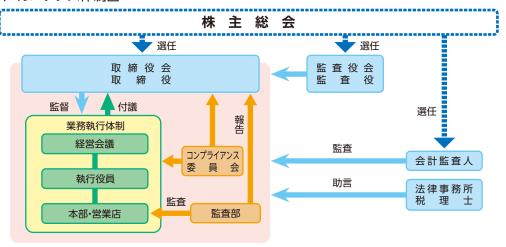
当行は、社会の一員として、地域社会との良好な関係を保ちながら持続的に発展を続けるため、コーポレート・ガバナンス(企業経営に不正行為がないことをチェックする機能)の充実、コンプライアンス(法令遵守)の徹底など内部管理体制の強化に努めています。

### コーポレート・ガバナンス体制

当行では、コーポレート・ガバナンスの充実を経営上の重要課題と認識し、法令、行内規程を遵守しつつ、取締役会及び監査役会において、取締役の職務の執行について厳正な監視を行っています。また、執行役員制度により、経営と業務執行の役割分担を明確化し、取締役と執行役員がそれぞれ責任を持って業務を行う体制としています。経営の観点からもコンプライアンス全般を評価し、社会規範に則した誠実、公正で透明性の高い企業活動を実現するため、コンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスに係る推進施策、コンプライアンス体制などについて審議しています。

### ●コーポレート・ガバナンス体制図

(平成23年9月30日現在)



### お客さまへの商品勧誘にあたって

当行は、「金融商品の販売等に関する法律」等に基づき、金融商品の販売に係る勧誘を行う場合、次の事項を遵守するよう定めています。

- 1. お客さまの知識、経験、保有資産の構成、投資目的やご意向を勘案させていただいた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
- 2. 最終的にはお客さま自身のご判断でお取引きいただくため、お客さまに対し商品の「仕組み」や「リスクの内容」など重要な事項を十分ご理解いただけるよう、説明に努めます。
- 3. 断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客さまの誤解を招くような勧誘は行いません。
- 4. お客さまにとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
- 5.これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

# 県民の皆さまとともに

### ■県民の皆さまへの貸出金

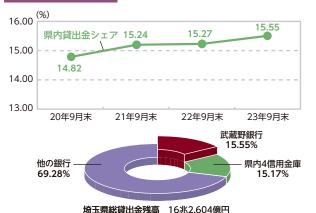
※本誌に掲載の計数は、原則として単位未満を切り捨ての上表示しています。
※当行では「地域 について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

### 地域向け貸出金



23年9月末の地域向け貸出金は、前年同期比634億円増加し、2兆5,281億円となり、地域向け貸出金比率は89.86%となりました。

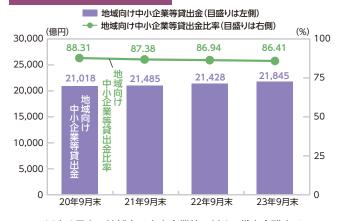
### 県内貸出金シェア



地域向け貸出金が増加したことに伴い、23年9月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年同期比0.28%増加し、15.55%となりました。

出所:日本銀行調査統計局資料ほか 銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

### 地域向け中小企業等貸出金



23年9月末の地域向け中小企業等に対する貸出金残高は、前年同期比417億円増加し、2兆1,845億円となりました。また、地域向け中小企業等貸出金比率は86.41%と、引き続き高い割合を維持しております。

### 地域の個人ローン



23年9月末の地域の個人ローン残高は、前年同期比496 億円増加し、1兆2,040億円となりました。

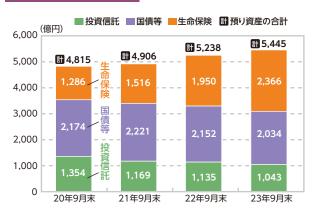
# 県民の皆さまとともに 県民の皆さまからの預金・預り資産 トピックス

### 地域からの預金



23年9月末の地域からの預金残高は、前年同期比1.485 億円増加し、3兆4.697億円となりました。この結果、地域 からの預金比率は、99.27%となりました。

### 地域からの預り資産

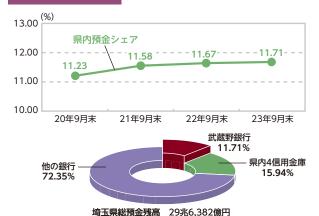


23年9月末の地域からの預り資産残高は、前年同期比 207億円増加し、5.445億円となりました。

※投資信託は時価で表示しております。

※牛命保険は累計販売額です。

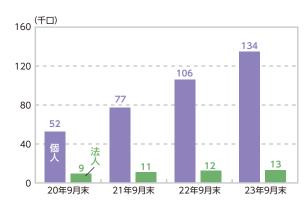
### 県内預金シェア



地域からの預金が着実に増加したことに伴い、23年9月 末の埼玉県内の預金シェアは前年同期比0.04%増加し、 11.71%となりました。

出所:日本銀行調査統計局資料ほか 銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

### インターネットバンキング口座契約数



インターネットバンキングの口座契約数は、個人向け・法 人向けともに、毎年着実に増加しています。

### 創業60周年に向けて

当行は、24年4月に創業60周年を迎えます。これもひとえに、お客さま、地域の皆さま、株主の皆さまからの長年に亘るご愛顧の賜物であり、 役職員一同心より感謝申し上げます。

創業60周年に向けて、埼玉県の地元銀行として、地域にお住まいの皆さまにもっと貢献できればと「More For You〜もっと、街・暮らし・笑顔のために」というメッセージを掲げ、主に以下のような取組みを行ってまいります。

記念事業(予定)	概要
記念配当(※1)	24年3月期の期末配当を1株当たり40円(10円増額)
ヴァイオリンコンサート	県内の小学生を対象にヴァイオリニスト吉田恭子さんのコンサートを開催
埼玉県の4基金へ寄付(※2)	埼玉県が設立している4基金(国際化人材育成基金等)へ3,000万円寄付
定期預金キャンペーン	特別金利の定期預金を期間限定で発売
ローンキャンペーン	特別金利のローンを期間限定で発売
通帳デザインリニューアル	普通預金と総合口座の通帳をリニューアル
制服リニューアル	女性行員の制服を清潔感や機能面を重視したデザインにリニューアル
新事務センター建設	営業店の事務を集中処理する拠点や、災害時の危機対応の拠点として建設

- (※1)24年6月に開催予定の定時株主総会ご承認後の取扱いとなります。
- (※2)23年7月に実施済みです。

### 店舗ネットワークの充実

当行では、中期経営計画「NEW PROJECT 60」において、県内空白地域への新規出店を積極的に進める方針を掲げています。

それに基づき、23年6月には和光支店、23年7月には東浦和支店を開設しました。2か店ともに、環境に配慮しLED照明を導入したほか、身体機能にハンディキャップをお持ちのお客さまにもご利用しやすいバリアフリー構造としました。



和光支店



東浦和支店

### 海外進出支援活動

県内企業の皆さまの、中国・東南アジアへの進出が増加するなかで、営業推進部に海外支援室を設置し、特にアジアを中心とする海外進出支援に積極的に取組んでいます。 23年10月には、中国企業と貿易取引を行っている法人のお客さまを対象に、中国人民元建ての決済サービスを開始したほか、タイ王国のカシコン銀行と業務提携(国際協力銀行地銀連携協定を活用)し、同国へ進出または進出をご検討中の皆さまに、同国のさまざまな情報や各種金融サービスのご提供を開始しました。



県内企業の皆さまの海外進出を積極的に支援

## 県民の皆さまとともに

### 環境保全活動

当行では、県内の緑豊かな自然を次代に引継ぐため、環境保全活動を積極的に行っております。

23年10月には、埼玉県の重要施策「みどりと川の再生」に協力し、20年度から期間限定でお取扱している「むさしの水と緑の定期預金」において、お客さまからお預かりした金額の0.01%相当額である300万円を埼玉県の「彩の国みどりの基金」へ寄付しました。なお、これまでの寄付実績は総額1,000万円となりました。



彩の国みどりの基金への寄付に対し、上田知事から感謝状を いただきました。

#### 従業員の環境教育

(財)埼玉県生態系保護協会のご協力をいただき、平成20年度から 「ぶぎん環境カレッジ」を開講し、自然環境保全、生態系保護に関す る知識習得に努めています。

また、23年4月には、(財)埼玉県生態系保護協会やNPO法人「荒川の自然を守る会」さまのご協力を得て、本年度総合職新入行員の研修の一環として、荒川河川敷の「三ツ又沼ビオトープ」の外来植物駆除等の自然環境保全活動を行いました。



三ツ又沼ビオトープでの外来植物駆除

### 地域の社会福祉に関する取組み

ご高齢の方や障がいをお持ちの方を含め、全てのお客さまに利用しやすい店舗づくりを推進しています。

目の不自由なお客さまに受話器からの音声案内に従って操作していただけるATM (店舗内、店舗外は全台)を設置しているほか、ご要望に応じ預金通帳の表紙や証書の表面にお客さまのお名前・口座番号等を点字で刻印するサービスを実施しています。また、ロビーにはロビー案内係を配置し、伝票記入やATM操作時等にさまざまなお手伝いをさせていただいております。



受話器からの音声案内に従い操作していただけるATMを設置

#### 節電に向けた取組み

今夏は、電気使用 量15%以上削減と いう目標を掲げ、さまで 行挙げてさま施した結果、本部・営 ま店ともに目という 実績を挙げること ができました。

今後も継続して、全 行挙げて節電に積 極的に取組んでま いります。



今夏は、例年より期間を拡大して クールビズを実施しました。

### 地域の文化・スポーツの振興

当行では、地域の文化・芸術、スポーツ活動が盛んになることを願い、さまざまな取組みを行っています。

大宮氷川神社で開催される「大宮薪能」の開催に協力しているほか、子供たちにプロが奏でる素晴らしい音楽に触れる機会を提供することを目的に、ヴァイオリニストの吉田恭子さんにご協力いただき、小学校の音楽室等でヴァイオリンコンサートを開催しています。

また、サッカーJリーグチーム「大宮アルディージャ」のオフィシャルスポンサーとして、 毎年プレゼンツマッチも開催しています。



小学校の音楽室でヴァイオリンコンサートを開催



当行プレゼンツマッチで挨拶する加藤頭取

#### 金融ADR制度について

「金融ADR制度」とは、紛争事案について裁判に よることなく(裁判外で)、紛争解決(ADR)機関に よるあっせん・調停・仲介のもと、紛争の解決を行 う制度です。

当事者間で解決を図ることが困難な場合に、お客さまと当行のいずれか一方からの申し立てにより、当行が契約している指定紛争解決機関(一般社団法人全国銀行協会)が、裁判手続きより迅速、簡易、安価で柔軟な解決を図ります。

○当行が契約している指定紛争解決機関 一般社団法人全国銀行協会

#### 【連絡先】

全国銀行協会 相談室 0570-017109 03-5252-3772

### 教育支援活動

当行は、教育支援活動の一環として、未来を担う子供たちの職場見学会や体験学習に積極的に協力しており、本年度は上半期で9か店にて 実施いたしました。

23年8月には、埼玉県の「青少年健全育成施策」の一つである「埼玉県青少年夢のかけはし事業」に協力し、県内5か店にて、小学生を対象とした金融教育(「武蔵野銀行のお仕事体験」~目指せ 日本一の銀行員)を実施しました。

また、学生の就業意識醸成の支援を目的として、毎年8月に、株式会社ぶざん地域経済研究所と協働して、大学生のインターンシップを実施 しています。



地元小学生の職場見学会に協力 (写真は飯能支店)



「埼玉県青少年夢のかけはし事業」に協力 (写真は川口支店)



大学生を対象にインターンシップを実施

# 株式情報

### 株式のご案内

•	
1.事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
2.定時株主総会	毎年6月に開催
3.剰余金の配当	株主総会の決議により、毎年3月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは
	信託受託者、登録株式質権者にお支払いします。
4.中間配当	取締役会の決議により、9月30日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主若しくは信託受
	託者、登録株式質権者にお支払いします。
5.基準日	定時株主総会については毎年3月31日
6.公告の方法	さいたま市において発行する埼玉新聞及び東京都において発行する日本経済新聞に掲載いた
	します。
	なお、決算公告につきましては、新聞紙上で掲載する方法に代えて、当行ホームページに掲
	載しております。
7.株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
及び特別口座管	三菱UFJ信託銀行株式会社
理機関	(連絡先)〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711(通話料無料)
	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (通話料無料) (ご注意)株券電子化に伴い、株主さまの住所変更や買取請求等のお手続きにつきましては、原

### 特別口座に記録された株主さまへ

- 1.特別□座のままでは売買を行うことはできません。証券会社等に株主さまご本人の□座を開設(既に開設している場合は不要です。)し、特別□座から証券会社等の□座に振替請求を行ってください。
- 2.特別口座に記録された単元未満株式の買取請求、買増請求、住所変更等のお手続きは、以下の口座管理機関にお申し出くだ さい。

#### 特別口座の口座管理機関・

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 0120-232-711 (平日9:00~17:00) http://www.tr.mufg.jp/daikou/

### 株式の状況等

(平成23年9月30日現在)

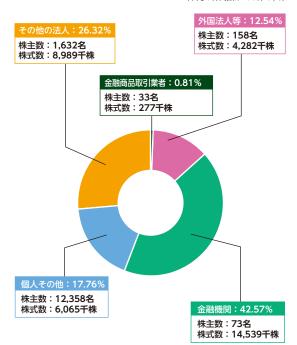
### 大株主の状況 (平成23年9月30日現在)

大株主の状況(平成23年9月30日現在)		(株・%)
株主名	所有株式数	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,509,600	7.34
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,250,700	3.66
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,218,987	3.56
武蔵野銀行従業員持株会	788,711	2.30
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	739,900	2.16
明治安田生命保険相互会社	735,858	2.15
住友生命保険相互会社	702,900	2.05
日本生命保険相互会社	540,222	1.58
前田硝子株式会社	506,400	1.48
ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニバス アカウント (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	497,242	1.45

### 株主の所有者別構成

(平成23年9月30日現在)

(単元の株式数は100株です。)



- 注1. 自己株式277,350株は「個人その他」に含まれております。
  - 2. 単元未満株式は、株主数7,106名、所有株式数179,756株です。
  - 3. 「その他の法人」には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が14単元含まれております。

### 武蔵野銀行プロフィール

本 店 所 在 地 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8

ホームページ http://www.musashinobank.co.jp

設 立 昭和27年3月6日

ネットワーク 営業店舗数 93か店(県内91[うち出張所1]、県外2)

住宅ローンセンター数 10か所 法人オフィス数 1か所 店舗外ATM数(拠点数) 119か所 ATM・CD設置台数 480台 従業員数 2,228名総 資産 37,387億円預金等残高 35,083億円貸出金残高 28,133億円資本金 457億円発行済株式数 34,155,456株自己資本比率 10.48%

(平成23年9月30日現在)



- 大宮北支店
- 1 指扇支店
- 東大宮支店
- € 七里支店
- 1 片柳支店
- ② 深作支店
- ③ 浦和支店
- 10 県庁前支店
- ① 北浦和支店
- 🛈 南浦和支店
- 武蔵浦和支店

- ∞ 戸田支店
- 7 戸田西支店
- 🐠 鳩ヶ谷支店
- 4 上尾支店
- 50 西上尾支店
- 61 桶川支店 北本支店
- ③ 鴻巣支店
- ❸ 伊奈支店
- 動東浦和支店

- 4 大井支店
- 川越支店
- 4 新河岸支店
- ⊕ 霞ヶ関支店
- 川越南支店
- 砂 鶴ヶ島支店
- 48 坂戸支店 ◎ 東松山支店
- ⑤ 高坂支店
- ⑤ 小川支店 が 所沢支店

- ⑥ 飯能支店

### 東部地

- 65 新白岡支店

- 母 日高支店
- ③ 和光支店

- 64 蓮田支店
- 66 久喜支店
- 67 八潮支店
- 68 草加支店

- 76 藤ヶ丘支店
- 77 庄和支店
- 78 杉戸高野台支店
- 79 幸手支店
- 80 加須支店
- 81 羽生支店
- 82 行田支店

- 83 熊谷支店
- 84 熊谷東支店

- - 5 朝霞住宅ローンセンター
  - 6 川越住宅ローンセンター
  - 7 所沢住宅ローンセンター
  - 8 南越谷住宅ローンセンター
  - 9 久喜住宅ローンセンター 10 熊谷東住宅ローンセンター

### 92 東京支店

### ③ 五霞支店

91 横瀬支店

法人オフィス ◆ 西東京法人オフィス

(平成23年10月31日現在)

# **5**武蔵野銀行

ホームページ http://www.musashinobank.co.jp 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 TEL.048-641-6111(代) 発行/平成23年12月 編集/武蔵野銀行 総合企画部 広報・CSRグループ







